

AGU NEWS

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY NEWS

青山学院大学

2019年12月～2020年2月号

<https://www.aoyama.ac.jp/>



特集

青山学院大学の進路・就職支援 ボランティアセンター活動報告

Topics

2019年度 学業成績優秀者表彰

「イノベーション・ジャパン2019～大学見本市&ビジネスマッチング～」に出展

「CEATEC 2019 Co-Creation PARK」に初出展



No.95

AGU Lecture

経営学部

マーケティング学科

横山暁ゼミ

特集 青山学院大学の進路・就職支援

入学と同時に始まる支援プログラムの数々。
学生一人一人が納得できるよう、サポートしています。

本学の進路・就職支援は、1・2年次の早期から3・4年次の就職活動本格時期まで、一貫したサポートを行っています。
年間400回以上開講の多彩な支援プログラムや、手厚い個別相談、大規模な合同企業説明会など、数多くの支援行事の中からピックアップしてご紹介します。

◎進路・就職活動の流れ(2019年度実施予定) 個別相談は随時 ※下記の進路・就職支援行事は抜粋です。詳しくは、本学公式ウェブサイトをご覧ください。



本学の進路決定率

多くの学生が、満足度の高い進路・就職先へ進んでいます。

本学では、在学生との連絡を密に取り、卒業後の進路についてほぼ100%把握しています。その過程において、適宜、個別相談を実施するなど、常に学生に寄り添う支援を心がけています。その結果、本学の進路決定率は全国平均を大きく上回っており、大部分の学生が進路・就職先を得て卒業しています。

進路決定率※

92.8%

2018年度卒業生(2019年5月1日現在)

※進路決定率(%)=(就職者数+進学者数)÷全卒業生数×100

保証人の方対象説明会

毎年5月末から青山・相模原の両キャンパスにおいて、主に首都圏在住の3年生の保証人の皆さまを対象に進路・就職説明会を開催しています。直近の進路決定率・就職者率のご報告とともに、本学の充実した支援体制についてもご説明しています。



また本説明会は毎年6・7月の週末に大学後援会事業として全国18カ所で開催の「ペアレンツウィークエンド」(地区父母懇談会)でも同様に実施しています。首都圏、地区いずれの会場でも、進路・就職を担当する本学職員が個別相談を行っています。アンケート結果からも「就職に対する不安が軽減された」と好評をいただいております。

なお2018年度卒業生の就職状況データ、説明会当日の内容については、本学公式ウェブサイトでご覧いただけます。

◎4年間を通して就職活動をバックアップします

新入生オリエンテーション

学生生活を充実させるために、また卒業後の進路について早くから考える機会として、入学直後に学部別の進路・就職オリエンテーションを実施しています。人口減少社会、外国人労働者の増加、IoTやAIのさらなる進歩など、今後目まぐるしく変化する世界に対応していくには、学生時代をどう過ごせば良いのか、卒業後にはどのような仕事を選ぶのか、そんなヒントが満載の講座です。



加、IoTやAIのさらなる進歩など、今後目まぐるしく変化する世界に対応していくには、学生時代をどう過ごせば良いのか、卒業後にはどのような仕事を選ぶのか、そんなヒントが満載の講座です。

インターンシップ支援

学生一人一人の「納得のいく進路」を実現するために、低学年時から参加できるインターンシッププログラムを提供しています。プログラムで学生が職業観を育み、社会人・職業人としての資質・



素養を体得し、自己の生き方を選択できる知識と能力を身に付けることが期待されます。また、事前のガイダンスやマナー講習など、自信を持ってインターンシップに臨めるようサポートをしています。

Uターン&Iターン地方就職支援

地元就職するUターン就職や、最近では首都圏出身の学生が地方就職を視野に入れるIターン就職が増えつつあります。首都圏にある本学に通いながら、地元就職や地方就職を目指す学生



のために、各地方自治体の担当者を招き、必要な情報を早い時期から得られる機会を設けています。それに先立ち、地方就職ガイダンス、厚生労働省のLO活セミナーも学内で実施しています。

多彩な就職支援講座

自己分析、エントリーシート・履歴書、業界研究、個人面接、筆記試験、ビジネスマナーなど、受講すれば確実に就職力がアップする対策講座を用意しています。授業やクラブ活動などで出席で



きなかった学生のために、同じ講座を繰り返し開催しています。独学では難しいグループ面接やグループディスカッションの講座は、本番さながらに行われる実践的な講座です。

低学年企業見学&ワーク

メーカー、IT、金融など多岐にわたる業界の企業を見学する低学年限定行事。企業内部を見学しながら、社員の方から直接お話を伺い、「働くこと」への興味・関心を高めます。また、見学の



のち、「働くこと」に関するグループワークを体験します。学部を超えた学生同士の交流や、社員の方からの貴重なフィードバックもあり、早期からキャリアについて考える一つのきっかけにもなっています。

公務員試験対策講座

公務員試験対策ガイダンスの他、官公庁や自治体の採用担当者による学内業務説明会や、合格者報告会、面接対策セミナーなど、公務員を目指す学生のための行事を年間を通じて行っています。また、限られた時間で確実に合格するために、本学学生限定



の公務員試験対策講座を専門予備校と提携して開講しています。夏休みや春休みには、無料でお試し受講ができる制度もあります。

就職ガイダンス

3年次の4月に就職ガイダンスを実施。本ガイダンスを受講することで、インターンシップをはじめ、SPIなどのウェブテスト対策な



ど、準備すべき就職活動の全容を理解することができます。また本学オリジナルの就活手帳も配布し、年間の活動をリードします。

学内合同企業説明会

毎年企業の広報活動解禁とともに、学内で大規模に開催される学内合同企業説明会は、3月だけで青山・相模原両キャンパス合わせて約1,000社の企業が参加しています。学内で1日に何社



もの説明を聞くことができるので、学生には大変好評です。参加企業は採用実績があり、本学の学生の採用意欲が高い企業ばかりで、年間では約1,200社が参加しています。



小笠原 捷太さん しょうた 社内定
国際政治経済学部 国際政治学科 4年
東京・私立多摩大学附属聖ヶ丘高等学校出身

**持ち前の行動力で、
グローバルに働く未来を見つけました**

中学時代にニュージーランドでホームステイをしたことをきっかけに、いつか海外で活躍したいと思うようになりました。国際政治学科を選んだのも、異文化や語学に関する教育が充実しているので、思い描く未来に近づけると思ったからです。入学後は、自分でできることを見つけて能動的に行動しました。2年生の終わりに5週間の海外インターンシップに挑戦。ロサンゼルスで、接客や営業補佐など実務を経験しました。それから10カ月間のアメリカ留学。英語の発音教育に定評のあるフィリピンのある学校にも2カ月間留学しました。就職活動でも行動力を駆使して、100人以上にOB・OG訪問をし、SPIは15回受験、インターンシップは15社ほど参加。これらは業界分析や選考対策に役立ちました。商社に就職後も、自ら行動し、世界中の人々に貢献をしていきたいです。

就職活動に関する主なスケジュール

- | | |
|--|---|
| 2年
(2~3月) 海外インターンシップ参加 | (10~1月) インターンシップ参加 |
| 3年
(5月) 合同説明会参加
(6月) インターンシップ選考参加
(8月) インターンシップ参加
(9月) 自己分析、OB・OG訪問開始 | 4年
(2月) SPI対策
(3月) エントリーシート・面接対策、
企業説明会・セミナー参加
(4~5月) 面接 |



田中 葉瑚さん はこ 求人広告コピーライター 内定
総合文化政策学部 総合文化政策学科 4年
神奈川・私立神奈川大学附属高等学校出身

**「自分の思いを注げる仕事」を
見つけることが大切でした**

「Web Ash※」で就職情報を入手し、興味のある広告やメディア関連企業に挑戦していました。しかし「何か違う気がする……」と納得することができず、悶々と悩む日々を過ごしました。自分と向き合ううちに、私は人の思いや言葉を知ることが好きだということと、総合文化政策学部の「ラボ・アトリエ実習」という授業で言葉を磨くことを学び、表現する仕事に興味があることに気付いたので。そこで「人」と「表現」に視点を置いて、改めて企業選びをすると、人材業界の求人広告コピーライターという専門職に出会うことができました。それは、企業や仕事の魅力を言葉にしなが、求職者と企業をつないでいく仕事です。それまで悩んでいたのが信じられないほど、「この仕事をやりたい!」と思えました。たくさん悩んだから時間はかかったけれど、「これこそ自分の思いを注げる仕事だ」と納得することができました。

就職活動に関する主なスケジュール

- | | |
|---|------------------------|
| 3年
(4月) 学内就職ガイダンス参加
(6~7月) エントリーシート対策講座、業界研究会参加
(10月~) インターンシップ参加
(3月) 学内企業説明会参加 | 4年
(4~8月) 面接 |
|---|------------------------|
- ※本学在学生専用の就職活動のためのウェブサイト



尾形 亜美さん あみ ビジネス・コンサルタント 内定
地球社会共生学部 地球社会共生学科 4年
茨城・私立鹿島学園高等学校出身

**就職活動の軸をしっかり決めることが
納得のいく成果につながります**

総合商社で世界に貢献する仕事に憧れていたため、幅広い分野をグローバルな視点で学べて、留学が学びの柱の地球社会共生学部に入學しました。マレーシア留学や、菊池尚代教授のゼミナールでの学びを通して、課題解決能力とリーダーシップに磨きをかけるとともに、就職につながる成長ができたと思います。またインターンシップにも積極的に参加し、社会で働く準備をしてきたつもりです。就職活動では、「価値観の似た尊敬できる先輩社員がいる職場で、さまざまな分野のスペシャリストと協働し、最後まで責任をもって仕事に関わる」ことを軸としました。まわりから「向いている」と言われたコンサルタントについても調べてみると、私の軸に合うだけでなく、むしろ総合商社などよりも自分にマッチしていました。今は、コンサルタントとして働くことを楽しみにしています。

就職活動に関する主なスケジュール

- | | |
|--|---|
| 3年
(9月) 学内就職セミナー参加、企業研究
(10月) 学内選考対策セミナー参加、会社訪問
(11月) 学内業界研究会・インターンシップ参加、
エントリーシートや証明写真などの準備開始
(12月) 学内業界研究会・選考対策セミナー・
早期選考参加 | (1月) 学内業界研究会・早期選考参加
(2~3月) 企業研究・企業説明会参加、面接
4年
(4月) 面接 |
|--|---|

黒田 哲史さん てつし 電子部品メーカー 内定
理工学研究科 理工学専攻 電気電子工学コース 博士前期課程 2年
埼玉・私立城北埼玉高等学校出身

**研究生生活で培った経験を、
仕事でも生かしたいです**

私が所属する橋本修教授研究室では電波に関する研究を行っており、その中でも、国立の研究機関と共同で、空港全域の電磁界解析手法を提案することが私の研究テーマです。就職活動では、こうした研究分野の知見を生かし、5Gや自動運転、IoTで成長が見込める業界を探そうと、まずはOBからの情報収集や企業説明会参加を通して企業研究を行いました。さらに自分の適性ややりたいことを考えて、電子部品メーカーを志望することにしました。志望企業には、学校推薦制度を利用して最終面接から選考に参加することができたのですが、推薦は内定が確約されたものではありません。もともと面接に不安があり、進路・就職課で模擬面接をしていただき綿密に準備していたので、最終面接を突破できました。入社後はさらに専門的な知識を習得して、世界中の人々に使われる製品の開発に携わりたいと思います。

就職活動に関する主なスケジュール

- | | |
|--|----------------------------|
| 博士前期課程1年
(11~12月) 学内集団面接対策講座参加、
模擬面接練習
(11~2月) 企業研究、自己分析
(11~3月) インターンシップ参加
(3月~) 企業説明会・セミナー参加 | 博士前期課程2年
(6月) 面接 |
|--|----------------------------|



ボランティアセンター活動報告

ボランティアセンターは開設から3年が経ちました。年度初めのボランティアオリエンテーションには青山、相模原キャンパスあわせて250名を超える参加があり、ボランティア活動への関心の高さがうかがえました。

相模原ボランティアセンターの移設とサービス・ラーニングへの取り組み

B棟学生センターの一角で運営していた相模原ボランティアセンターですが、今年度よりF棟2階へ移設しました。入り口では地域のボランティア情報の掲示や、学生ボランティア団体の活動写真を展示しています。定期的にイベントも開催していま

すので、興味のある方はぜひF棟2階へお越しください。なお、前期は相模原キャンパスにて開講された青山スタンダード科目「サービス・ラーニングとしてのボランティア活動」において、実習受け入れ先の開拓や実習期間の連絡調整などを行いました。

夏の塩竈ボランティア

本学と連携協力に関する協定を締結している宮城県塩竈市と連携し、この夏、「お祭り支援」と「学習支援」の2つのボランティアプログラムを実施しました。「お祭り支援」では塩竈市浦戸諸島で開催される夏祭りの運営補助として、参加した10名ほどの学生が本学のブースを設け、島民の方々にもお祭りを楽しんでもらうよう会場を盛り上げました。「学習支援」では塩竈市内の小学校にて、4名の学生が授業補助を行った他、放課後に塩竈市アフタースクール事業「わくわく遊び隊」で学生が考えたゲームを披露し、盛り上がりを見せました。

◎お祭り支援

8月12日(月・振替休日)～15日(木)



1年生 5名
2年生 2名
3年生 1名
4年生 1名
博士前期課程 2名
コーディネーター 1名(相模原キャンパス)
計12名

◎学習支援

8月27日(火)～30日(金)



2年生 2名
3年生 1名
博士前期課程 1名
コーディネーター 1名(青山キャンパス)
計5名

学生スタッフRoute ボランティア活動報告



1



2



3



4

- 1 学生食堂での広報活動(食品ロスプログラム)
- 2 復活した七夕祭りを支援(陸前高田プログラム)
- 3 ビニールハウスを視察(熊本プログラム)
- 4 高校での授業(インドネシアプログラム)

① 食品ロスプログラム

活動期間 2019年7月1日(月)～5日(金)
参加人数 1年生:10名、3年生:2名

渡邊 菜摘さん

総合文化政策学部 総合文化政策学科3年
神奈川県・私立山手学院高等学校出身



青山キャンパスにて、食品販売の様子

世界では生産量の約1/3の食料が捨てられています。この食品ロスは、人類にとって大きな問題です。しかも、その約半分は消費者が排出しています。そこで必要なのは、消費者の意識を変えること。私たちは一昨年から食品ロスの認知度向上を目指して活動し、今年は学内で食品ロスになりかねない食品を安価に販売しました。つまり、学生たちがお得に買い物をすれば食品ロス削減につながる。それを知ってもらう活動でした。

今後も「社会から何を求められ、どうしたら学生が参加したいと思えるか」というニーズを把握し、食品ロス削減の結果も出して、社会貢献につながる達成感を得ていきたいです。より多くの方に協力を仰いで、持続的な活動を展開していきます。

② 陸前高田プログラム

活動期間 2019年8月4日(日)～11日(日)
参加人数 1年生:2名、2年生:2名

水田 瑛吉さん

理工学部 機械創造工学科2年
埼玉県立川越高等学校出身



津波の難を逃れた方から震災時の話を伺う

私たちは、東日本大震災の被災地である陸前高田市の魅力を引き出し、少しでも多くの学生に目を向けてもらえるように活動しました。震災当時の状況や教訓を語り部の方から伺ったり、市民の努力で津波被害から復活した七夕祭りに参加。さらにお年寄りとの交流会に参加したり、障害者就労支援施設でお手伝いをしながら交流を深めました。

震災から8年ほどたった現在も、陸前高田市は、人口流出をはじめとする諸問題を抱えています。その解決策を模索するためにも、多くの方に問題を共有してもらうことが大切です。また現地での体験や協力者の方が年々増えていることは、大きな収穫です。初めて訪れた学生もとても興味を示してくれたので、ぜひ足を運んでいただきたいです。

③ 熊本プログラム

活動期間 2019年8月16日(金)～9月1日(日)
参加人数 1年生:5名、2年生:5名、
3年生:2名、4年生:1名

岡本 凌翼さん

経済学部 経済学科2年
神奈川県立市ヶ尾高等学校出身



ブランディングプロジェクトのワークショップ

熊本地震で被害を受けた南阿蘇村で活動しました。地震から3年が経ち、表面的には復旧して見えても、人口流出や観光客の減少など深刻な課題が残っています。そこで「南阿蘇ブランディングプロジェクト」を立ち上げ、南阿蘇村の水や果物を活用した商品の開発、豊富な水源をさらに観光地化するコンテンツのアイデアなどを提供。今夏は企業や道の駅、村役場とも協力し、画期的な商品の開発に向けてワークショップを開催し、さまざまなアイデアが生まれました。

他にもジャズフェスティバルの運営サポートや農村での交流会開催など、住民の方と話し合う中で見つけたニーズに対応すべく、できることを行っています。定期的にニーズを見直し、適宜活動方針を修正していきたいです。

④ インドネシアプログラム

活動期間 2019年8月18日(日)～26日(月)
参加人数 1年生:4名、2年生:2名

落合 ありささん

国際政治経済学部 国際政治学科2年
東京・私立京華女子高等学校出身



現地の高校の先生方と

深刻なゴミ問題を抱えるインドネシアで、現地の高校に赴き、ゴミに関する授業を行いました。今年は特にリサイクル問題に焦点を当て、日本のリサイクルシステムや政策も含めて、高校生に知識の普及と問題提起を実施しました。生徒たちへのアンケートで、ゴミ問題への関心がある反面、リサイクルに関する知識が乏しいことが分かりました。だからこそ、リサイクルを取り上げたことは適切だったと思います。

活動中は、毎日のミーティングで少しずつ授業を改善し、みんなで協力して最善のものを提供しようと努めました。インドネシアの方々の優しさに触れ、できる限りのことをしたいという気持ちが強くなっていき、参加学生たちが日に日に変化していったことが印象的でした。

⑤ フィリピンプログラム

活動期間 2019年8月6日(火)～17日(土)
参加人数 1年生:2名、2年生:2名

莊 禮陽さん

経済学部 現代経済デザイン学科2年
東京・私立青山学院高等学校出身



12日間、現地調査に協力してくれた子どもたち

フィリピンのカピテ州プリハン地区を訪問し、視察を行いました。今年度は、子どもたちが地域でのびのびと成長できるように、生活・学習環境の改善を目指しました。

8月に、まず現地のニーズ調査を行いました。調査結果から私たちができる活動について検討し、今秋からはプリハン地区の子どもを対象に、体育用品や洋服を寄贈する物的支援を行う予定です。また来年3月には、青学生を募り、フィリピンの子どもたちとスポーツを通じた交流活動を行いたいと考えています。

こうした計画の実行の是非は、現地協力者と綿密な連携を取りながら決めていきます。私たちができることは限定的かもしれませんが、子どもたちの笑顔のために貢献していきたいです。

2019年度 学業成績優秀者表彰

学業成績優秀者表彰は、各学部・研究科に在籍する2年生以上の学生で、前年度において学業成績が優秀と認められた者に対し表彰し、表彰盾および副賞が授与されます。2019年度は、下記の学生が表彰され、7月10日(水)に青山キャンパス17号館本多記念国際会議場にて授与式が行われました。

[2019年度 学業成績優秀者表彰 表彰者一覧] ※敬称略

(学部)	最優秀賞	文学部	地球社会共生学部	経営学部	国際政治経済学部	総合文化政策学部	教育人間科学部	経済学部	社会学部	法学部	理工学部	国際政治経済学部	経済学部	社会学部	法学部	理工学部	国際政治経済学部	経済学部	社会学部	法学部	理工学部																						
最優秀賞	長田 奈々	宮本 恵太	内山 愛弓	柳田 慶人	佐久間 翔子	大谷 万由子	田中 優羽	土屋 桃子	福西 明日香	羽山 璃里	高橋 翔智	大塚 悠生	鈴木 優花	山川 美穂	齋藤 希実子	渡邊 峻太	渡邊 礼奈	賀川 一樹	蔡 漢卿	定由 諒	川面 舞衣	星野 亜伽里	宮部 紅子	鈴木 彩乃	太田 千裕	遠藤 向日葵	三ヶ尻 奈由	小長谷 萌華	堀江 遼大	田口 愛乃	鈴木 満里菜	山尾 祐貴	山口 輝	遠藤 晴香	石田 港								
文学部	藤枝 優香	森本 千香子	甲斐 麻友香	真宗 美帆	皆川 理奈	(以上41名)	丹治 祥子	藤田 智弘	朱 佳文	八木澤 里紗	日下部 絵梨	佐久間 理奈	西田 ゆり	長谷川 真那	岩田 明花音	大久保 日向子	堀内 誠司	小池 祥子	工藤 由紀恵	御神村 未奈	松崎 亜耶	星野 彩芳	婦木 麻由実	牛久保 広輝	石田 美咲来	高橋 恵璃	初山 慎司	北岡 志穂	遠山 拓也	加藤 珠可奈	山脇 涼輔	桑原 百夏	小池 杏佳	臼井 聡太	中川 結衣	永田 百和	橋崎 恵梨						
地球社会共生学部	青木 那世	大竹 一星	高尾 直輝	田中 汐音	山崎 大成	全 勝美	鳥海 真央	稲富 健人	瀬田 愛	中村 聖矢	松井 秀太	小林 奈央	駒崎 園央	北川 愛莉	服部 理子	星野 紗矢香	清水 美咲	中川 祐里	木原 真優	中村 怜亜	宮本 知佳	小池 祥子	坂本 明穂	鶴 万理乃	田宮 彩加	緒方 百恵	宮崎 優希	山下 敦也	松澤 明日香	鈴木 瑛大	坪井 敦紀	鈴木 凜汰郎	井上 実優	吉野 康平	山野 聖也	畠山 美礼	金谷 智恵	山本 有紀	高杉 奈央	中川 結衣	総谷 明帆		
経営学部	時任 帆乃香	山田 ひより	計田 和香菜	(以上74名)	大竹 碧	小原 帆夏	山本 大河	池井 小夏	小澤 瞳子	久保田 麗菜	榊原 実侑	柄澤 郁乃	菜原 緋雛子	佐藤 由実	徳田 詩	山内 麻衣	小川 夕貴	近藤 幸宣	吉田 稚菜	相川 衣久乃	中村 浩音	吉松 浩子	原口 奈々	高石 奈月	沼田 桃子	三浦 奏	寺田 彩乃	藤野 真也	池田 怜央	深野 唯子	山口 一青	山村 真央	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
国際政治経済学部	Mavrikaki Foteini	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹
社会学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
法学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
国際政治経済学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
経済学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
社会学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
法学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
理工学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
国際政治経済学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
経済学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
社会学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
法学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
理工学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
国際政治経済学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
経済学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
社会学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
法学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
理工学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
国際政治経済学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
経済学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
社会学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一	江崎 寿一	重本 竜声	小濱 美咲	山田 樹貴	蒲地 遥	小島 大輝	立川 瑛士	小田島 美咲	田口 潤	福島 一希	岡田 萌希	石毛 里実	藤井 智楠	永井 智子	野原 大雅	中尾 彩音	橋田 実香	藤岡 知菜	松窪 恵	(以上111名)	市川 夏帆	山本 菜緒	廣岡 沙希	岡田 菜央	田坂 あゆみ	小嶋 美生	原田 幹太	配島 彩加	本西 美奈子	小林 絹	
法学部	大岩 史織	大久保 馨子	大友 怜南	小山田 芽具	長津 翔輝	畑 泰代	山本 あゆ美	太田 光	船田 千紗子	高橋 友朗	渡邊 恵	小佐田 一																															

青山学院大学後援会報告

決算・予算報告

後援会は、本学の教育・研究に必要な事業を援助するために設立された支援団体です。在学生の保証人とその他有志が会員となり、会員から拠出される会費をもって、課外活動や奨学金、傷害保険への全学生加入といった学生支援、ペアレンツウィークエンド(地区父母懇談会)の開催など、多岐にわたる活動を行っています。毎年度の事業内容は年1回開催の評議員会(総会)で審議・決定されます。

このたび、2018年度決算と2019年度予算が承認されましたので、ご報告いたします。

2019年度の会費収入は、「コミュニティ人間科学部」が新設され、学生数増加等に伴い、昨年度収入予算に比べ増収を見込んでいます。

支出の部における学友会活動補助は、決算から増額しています。陸上競技部(長距離ブロック)の活躍はご存じの通りですが、同様に優秀な結果を残した団体や個人にとって励みになる支援が増えていきます。

また、教育環境整備補助では、学生から一番要望の多いトイレ、衛生面の改修を予定しています。これは、建物の老朽化にも関係しますが、

LGBTや身体障害者用等、多様なニーズに対応する必要があるため、昨年に引き続き、順次整備していきます。さらに、夏の暑さ対策のミスト設置や、照度アップ等、安全対策の強化、憩いの場としてのベンチ、テーブルの設置等の学内環境の整備を支援します。

就職活動補助については、昨年同様、保証人の皆さま向けの就職ガイドブック作成や、学生対象に支援行事の撮影、配信等を行っており、行事に参加できなかった学生のフォローや、保証人の皆さまに就職活動をご理解いただくために、2019年度も就職活動補助を計画しています。

後援会行事関係は、首都圏の「学業・成績」、「進路・就職」、「留学」説明会や、ペアレンツウィークエンド(地区父母懇談会)開催に伴い、昨年と同額の予算を計上しています。

好評をいただいている「100円朝食」は、今年度も青山・相模原各キャンパスの学生食堂で、2019年4月8日(月)～5月24日(金)の30日間、午前8時から実施されました。期間中7,012食の朝食を提供しました。メニューは学生のニーズに加え、健康面でもサポートできるよう米飯食とパン食が交互に提供され、後援会より1食あたり200円の補助を行い、100円朝食を実施することができました。学生からは、継続的な実施を望む感想が寄せられています。

2019年度も教育・研究環境や学生の健康、安全面を中心に、多方面での支援が予定されています。

大学院生を助手に雇用し、研究者を育成

2020年度から大学院および専門職大学院研究科の大学院生を「院生助手」として雇用する新制度を開始します。助手として実務経験を積むことができる場を設け、経済的支援を行うことにより、当該の大学院生が行う研究に専念できる研究環境を提供し、研究者としての能力向上の一助とすることを目的としています。

開始初年度は、約40人の大学院生が研究を優先しつつ、学部生の講義や実習、国際会議の運営など、より高度な補佐業務を行います。この制度によって、きめ細かな教育の指標となるST比(教員1人あたりの学生数)も向上させます。

2018年度 決算

収入の部		(単位 円)
科目	金額	
前期繰越金	10,769,531	
会費収入	159,028,500	
貸付金回収収入	0	
合 計	169,798,031	

支出の部

支出の部		(単位 円)
科目	金額	
学 生 活 動 関 係		
学 友 会 活 動 補 助	38,000,000	
学 友 会 活 動 指 導 補 助	13,900,000	
保 険 料	19,178,800	
奨 学 金 事 業 補 助	12,000,000	
大 学 行 事 補 助	1,489,238	
アドバイザー・グループ会費補助	470,000	
教育環境整備補助	35,000,000	
奨 励 金	500,000	
就 職 活 動 補 助	7,462,250	
ボランティア活動補助	2,960,395	
学 生 生 活 補 助	1,540,000	
後 援 会 行 事 関 係		
ペアレンツウィークエンド費	14,469,036	
旅 費 交 通 費	293,742	
会 議 費	1,169,196	
消 耗 品 費	0	
通 信 費	42,400	
そ の 他		
慶 弔 費	110,000	
【 予 備 費 】	0	
支 出 計	148,585,057	
次 期 繰 越 金	21,212,974	
合 計	169,798,031	

2019年度 予算

収入の部		(単位 円)
科目	金額	
前期繰越金	21,212,974	
会費収入	177,714,000	
貸付金回収収入	500,000	
合 計	199,426,974	

支出の部

支出の部		(単位 円)
科目	金額	
学 生 活 動 関 係		
学 友 会 活 動 補 助	40,000,000	
学 友 会 活 動 指 導 補 助	15,000,000	
保 険 料	19,414,850	
奨 学 金 事 業 補 助	12,000,000	
大 学 行 事 補 助	2,000,000	
アドバイザー・グループ会費補助	660,000	
教育環境整備補助	40,000,000	
奨 励 金	0	
就 職 活 動 補 助	8,000,000	
ボランティア活動補助	5,000,000	
学 生 生 活 補 助	3,000,000	
後 援 会 行 事 関 係		
ペアレンツウィークエンド費	18,000,000	
旅 費 交 通 費	100,000	
会 議 費	1,200,000	
消 耗 品 費	0	
通 信 費	50,000	
そ の 他		
慶 弔 費	300,000	
【 予 備 費 】	34,702,124	
合 計	199,426,974	

問い合わせ先
庶務部庶務課 TEL: 03-3409-8568

青山学院大学教育振興資金 保証人の皆さまのご支援を教育研究環境の改善につなげます。

日頃より本学の教育研究活動に関してご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年6月に募集いたしました2019年度の「青山学院大学教育振興資金」に対して、過分なるご寄付をいただきまして誠にありがとうございます。これらひとえに、同振興資金募集の趣旨をご理解いただいた上でのご支援の賜物と存じます。

2019年度は、英語による授業の充実、海外インターンシップの拡充、海外派遣プログラムの多様化、統合研究機構による先進的な研究の推進、新たな図書館の建築計画の推進など、学習環境および生活環境の一層の改善に取り組んでおります。

この場をお借りして御礼申し上げますとともに、ご寄付くださった皆さま方のご芳名を本誌に掲載させていただきます。

ご芳名掲載対象者 270名 ご芳名掲載者:79名 匿名者:191名 ご芳名掲載対象期間:2019年4月11日から9月30日までのご寄付者

あ	相川 淳 様	お	大谷 千鶴 様	こ	児嶋圭多朗 様	高村 忠武 様	ね	根岸 美幸 様	宮本 一政 様	
	荒井 邦光 様		大本真一郎 様		小林 孝至 様	田口 智紹 様	の	野口 克行 様	む	村山 哲也 様
い	飯田 和信 様		奥山 圭一 様		近藤 義明 様	田澤 嘉章 様	は	原田 洋幸 様	も	森 巧 様
	石井 崇司 様		奥山 拓也 様		今野 正文 様	田中 巖 様	ひ	檜山 栄治 様		門田隆太郎 様
	石井 正人 様		小椋 健史 様	さ	齋藤公一朗 様	玉串 昌哉 様	つ	弘田 正彦 様	や	矢野みちこ 様
	石賀 英樹 様		小倉 秀幸 様		酒井 暢也 様	辻 宣夫 様	ふ	深澤 勲 様		山内 芳夫 様
	石川 朋幸 様		小原 一郎 様		坂口 進 様	外崎 良則 様	と	福田 豊 様		山下 潤 様
	伊藤 和宏 様	か	影山 京子 様		櫻井 節子 様	内藤 義人 様	な	藤岡 輝好 様		山本 宗弘 様
	伊藤 方之 様		加瀬 三男 様		猿渡良太郎 様	長井 信二 様		藤崎 豊彦 様	よ	横地 真 様
	井上 雄夫 様	き	菊田 浩之 様	し	清水 信宏 様	夏井 敏正 様	ま	松井 俊 様		
	岩井 隆司 様		北川 正弥 様	す	鈴木 勇人 様	並木光二郎 様		松本 繁夫 様		
	岩下 誠 様		紀藤 潤 様	た	高木 誠 様	西川 仁史 様	に	松元 宙子 様		
う	植松 俊彦 様	く	久保田伸明 様		高橋 まき 様	西村 公一 様	み	溝口 太 様		
え	櫻本 一朗 様		桑原 晴彦 様		高橋 裕子 様	西村 勉 様		宮下 幸俊 様		(五十音順)

※ご芳名掲載の意思表示は「教育振興資金ご寄付のお願い」に同封の振込用紙にて依頼しております。希望されない方、**問い合わせ先：庶務部経理課**
意思表示のない方、また、銀行のATM、インターネットバンキングを利用してご寄付され、意思確認ができない方につましましては、匿名で掲載させていただきます(今回匿名掲載された方で、ご芳名掲載を希望される場合は、庶務部経理課までお知らせください。次回掲載させていただきます)。
E-mail: agu_supporters@aoyamagakuin.jp

CLUB & CIRCLE 45 鉄道同好会

仲間と交流しながら、
鉄道の魅力を知る。

会長：経済学部 経済学科3年 小林大起 記

私たちは、青山・相模原の両キャンパスにそれぞれ拠点を置いて活動しています。活動内容は、週に一度の各キャンパスでのミーティングや、年に数回の両キャンパス合同企画による旅行行事の開催などです。学園祭でも、発車メロディーを鳴らす体験や会員が撮影した写真を展示するなど、さまざまな企画でご来場者の好評を得ています。

当同好会の魅力は、まず鉄道旅行の醍醐味を味わえること。全国各地の列車に乗ると、景色や現地の方々との触れ合いから多くの発見や感動を得られます。それから、異種の鉄道ファンとの交流も楽しいです。列車に乗ることが好きな「乗り鉄」や写真撮影が好きな「撮り鉄」、発車メロディーが好きな「音鉄」など、多ジャンルの「鉄」がいます。鉄道には語りつくせない魅力があるので、それをもっと発信していきたいです。



4月に開催した新入生歓迎旅行にて



夏休みに札幌市電の貸切運行を実施



横山暁准教授インタビュー

「マーケティングデータ分析」

横山暁

経営学部 マーケティング学科 准教授

マーケティング学科では、Project Based Learning (PBL) 形式の授業を取り入れて、問題の発見と解決の能力を養います。横山ゼミでは、文系ではめずらしくデータ分析中心の研究を行っています。実際の企業データを扱い、実践力を身に付けていきます。



Q.ゼミナール(ゼミ)での研究内容について教えてください。

マーケティングにおけるデータ分析を行っています。データの分析方法やその利用方法を学ぶことで、1~2年次で学習したマーケティングについて理解を深める内容です。

ゼミに入るとまず、コンビニのPOSデータ(レジで記録される商品名、時間帯、価格、店舗の場所など)を使ってデータ集計・分析の基礎を学びます。その後も実際の企業から提供されたデータを分析し、どうしたらもっと売りが上がるか、どのような商品が求められているかなど、施策の提案まで実践的に取り組んでいきます。

また、学外のマーケティングデータ分析のコンペティション(コンペ)にも参加することがあります。この夏は、調査会社主催の学生向けコンペに参加しました。大手企業へのアンケート結果のデータや消費者の購買履歴データを使って、与えられたテーマに対する施策の提案を行いました。

Q.ゼミ生たちの学びの姿勢はいかがでしょう?

ゼミに入った当初は、「データ分析なんて難しくてできない」「Excelが使えない」という学生が多いのですが、実際のデータを分析していくにつれて、データ集計や見方の勘所をつかんでいきます。しっかり自分で考えて、積極的に研究を進めていける学生が多いです。

という学生が多いのですが、実際のデータを分析していくにつれて、データ集計や見方の勘所をつかんでいきます。しっかり自分で考えて、積極的に研究を進めていける学生が多いです。

Q.学生を指導する際に心がけていることや、伝えたいことは?

データ分析を行う際には、いつも良い結果が出るとは限らず、むしろ良い結果が出ることのほうが少ないものです。それでも諦めずに繰り返し分析することが大切だということを、指導の中で伝えるよう心がけています。

企業は、データを分析できる能力やそれに基づく意思決定ができる人材を求めていると感じています。横山ゼミで目指しているのは、まさにそのようなスキルを身に付けた人材の育成です。文系のゼミなので、高度に数学的な知識を使うのではなく、データを用いて仮説の検証や分析を行うことに重きを置いています。その結果、マーケティングに限らず、どのような分野でも活躍できる論理的思考力を鍛えていくことができると考えています。学生には、社会に出たら「顧客にとって必要なこと」を考えられるようになってほしいです。



ゼミ生の声

永田 佳奈さん

経営学部 マーケティング学科4年
東京・私立青山学院高等部出身

大学ではただ講義を聴くだけではなく、社会で役立つ実践的な授業を受けたいと思っていました。大手企業から、商品企画についてのフィードバックが得られるPBL形式の授業に憧れて、マーケティング学科を志望しました。そして、データの内容が企画内容に大きく影響することに興味を持ち、自分でデータ分析を行える横山ゼミに入りました。

ゼミでは、期待通りに実践的な学びができています。企業から提供されたデータを基に、グループワークで施策を提案していきます。例えば、今取り組んでいる研究では、2~3人ずつに分かれて分析を行っています。私のグループのテーマは「どうすれば美容院の客単価が上がるか」。美容系ECサイトのデータを分析し、40代女性の客単価が高いことが分かりました。40代は子育て世代であることに着目し、親子での施術を割引するサービスなどを提案していきます。

横山先生は、とても気さくな先生です。ゼミのグループワークを通して、一人では気付けないうちの多くのことを学ぶことができている。

Lecture Items

横山ゼミでは、データ分析に必要な知識を身に付けるため、入門的な書籍の輪読を行います。調査方法や分析方法など、実践する上で必要な部分をインプットでき、かつ文系の学生にも分かりやすい内容の本が選ばれています。



AGU NEWSについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGU NEWS」を発行し、在学生の保証人の方々へ送付しています。

●最新号からバックナンバーまで、本学公式ウェブサイトでご覧いただけます。

●確実に保証人の方々へお届けするため、住所が変更になった場合は、学生ポータルを利用し、**学生本人が変更手続きをしてください。**